

○議長（茅沼隆文）

再開をいたします。

○3番（湯川洋治）

3番議員、湯川洋治でございます。通告に従いまして、1項目質問させていただきます。

開成駅東口施設『ぷらっと・かいせい』等の活用状況について。

本年4月に開成駅東口に3階がぷらっと・かいせい、2階がパレットガーデン自治会館が、開所となり6カ月が経過しようとしております。この施設は小田急不動産からそれぞれ税別で月65万円で賃貸契約をしている施設です。利用者や住民の方より様々な御意見を伺っており代表的な声として駅前窓口コーナーは「土曜日にも開設しているが、戸籍謄本など欲しい書類は役場の開設時間以外は取得できず不便だ」子育て支援センターは「新しい施設に期待したがスペースが狭く安心して遊ばせることができない」パレットガーデン自治会館に関しては「管理人が常駐している共用棟があり距離も近く気軽に利用できるため自治会館を借りる回数は少ないと思う」など様々な御意見や要望があります。できるだけ多くの方に喜んでもらえる施設にすることが重要と考え、次の点に関して確認したいと思います。

1、開設からこれまでの各施設の月別利用状況は。

①駅前窓口コーナーの利用者数と内容。

②子育て支援センターの地域別利用者数と近隣施設の利用者状況について。

③パレットガーデン自治会館の使用状況と他の自治会館の比較。

2、各施設の利用者拡大に向けた取り組みについて。

以上、よろしく願いいたします。

○議長（茅沼隆文）

町長。

○町長（府川裕一）

それでは、湯川議員の御質問にお答えします。

最初に個々の御質問にお答えする前に、若干、駅前の経過等について触れたいと思います。

開成町では昭和60年3月の開成駅開業以来、町の人口増や町内進出企業社員の増加とともに、開成駅の乗降人員も着実に伸びており、平成27年度の1日の平均乗降人員では1万736人となっております。

開成駅は開業しておよそ30年が経ちます。駅周辺は開業当初のころは駐車場が目立つ地域ではありましたが、住宅の分譲やマンション開発により、最近では、元気な子どもたちの姿が目立ってきております。

こうした時代の流れに対応すべく、駅利用者の利便性の向上と駅機能の高度化に向け、三つの機能を備えた公共施設「ぷらっと・かいせい」を開設いたしました。

この「ぷらっと・かいせい」は、にぎわいのある施設整備を駅周辺に図っていく

ため、人が集える場所としての公共施設といたしました。

駅近のこの施設は「駅」をキーとした、通勤時や鉄道を活かした利用者の利便性にも着目した施設としており、町の定住促進策にも一役買うものであります。

「ぷらっと・かいせい」の子育て支援センターや証明書取得のサービス機能はまさにそういった施設として位置付けたものであります。

駅近の利便性のよい立地は、子育て支援センターや証明書発行窓口について、住民からのアンケート結果に答えたものであります。が、何よりも、駅周辺の機能を高めていくという町としての、まちづくりの重要な部分でもあります。

したがって、駅近のこの場所でのにぎわいのある、人の集える施設を運営できることのメリットは大きいと考えております。

次に、地域集会施設についてであります。開成町では、各地域集会施設を地域活動の活性化を図るための自治会活動の拠点、災害時の避難所となる施設として整備をしております。

パレットガーデン自治会館もまた、自治会の地域活動の拠点として、指定管理者としてのパレットガーデン自治会が維持管理、運営を行っている施設であります。

パレットガーデン自治会館の整備では、他の地域集会施設が建てかえのみで更新されていることとは根本的に異なり、新たな用地の確保と自治会館本体の建設という二つ要因が絡んだものであります。

取得しようとしている用地は、駅前の一等地であることは言うまでもなく、開成町の中では一番地価の高い地域にあります。

種々の検討の結果、パレットガーデン自治会館の整備にあたっては、長期にわたる賃貸借契約での設置といたしました。費用面では新たに土地を購入した上で、自前の施設を建設するのと総額としてはほとんど変わりなく賃料のみで施設整備ができており、町から建設費として、一度に億単位の歳出が抑えられたという現状もあります。

一方で、設計や手続関係の費用や事務の手間がかからず、設置後の大規模改修等の経費等もかからない整備方法となっており、固定資産税収入が確保されるなど直接目に見えない部分でもこの賃貸借契約でのメリットは大きいと判断をしております。

自治会の要望を実現した上に、子育て支援センター及び証明書発行窓口の三つの合体した施設が整備できたことで、今後の事業の充実がさらに期待されるところであります。

本年11月には施設建物の1階部分に、商業施設も開業する予定であることが報告されており、駅前施設としての機能が整いつつあると思います。

それでは、個々の御質問にお答えをいたします。

一番目の開設からこれまでの各施設の月別利用状況については、駅前窓口コーナーの利用者数と内容であります。駅前窓口コーナーでの証明書発行の実績は、8月16日までで、合計590件です。月別の詳細は、資料を御参照いただきたいと思います。

思います。4月から7月までの1カ月の平均は125件であり、利用者数は、405人でした。

利用者の利用形態としては、住民票と印鑑証明書の両方を同時取得される方が多い傾向にあります。

住民票と印鑑証明書の取得者は直近の7月では、全体のおよそ94%を占めている状況となっております。

利用時間帯は、同じく7月では9時から10時台、午後は14時台、夕方は17時から18時台が比較的発行数が多く、この時間帯で全体のおよそ65%を占めている状況であります。

利用者からは、土曜日や会社帰りに寄れてよかった。また、町外にお住まいの方からは、駅から近くで便利でよかった。などの御好評をいただいております。また、言葉ではおっしゃらなくとも、明らかに「あいていてよかった」と安堵の表情を浮かべられる方も少なくない状況があるのも事実であります。

次に、子育て支援センターの地域別利用者数と近隣施設の利用者状況についてお答えをいたします。

子育て支援センターは、単に子どもの遊び場を提供するというものではなく、人と人とのつながりが希薄化してきている現代社会の中で、子育て世帯の孤立化を防ぐため国全体で取り組む子育て支援事業であります。

開成町で2カ所目として開設した、駅前子育て支援センターでは、この目的を達成するため、利用者がスタッフと気兼ねなく相談できる関係をつくり、個々の親子への支援や情報提供にきめ細かに応じております。

施設を利用された方からは、「幼児と乳児スペースが分かれていて安心して過ごせた」「いつも安心して楽しく過ごしている」などの声が寄せられております。

子育て支援センターの目的から、必ずしも利用者が多ければいいというものではありませんが、実際の利用状況から見てもこの駅前子育て支援センターは十分にその目的を果たしていると考えております。

月別の利用状況の詳細は別の資料のとおりであります。開所から7月、8月までの4カ月間では、延べ1,632組、1日平均19.2組の利用があり、想定していた1日20組程度の利用目標はおおむね達成している状況であります。

また、町内在住の方で一度でも駅前子育て支援センターを利用したことがある親子の実数は、8月16日までで252組となっており、地区別の内訳は別の資料のとおりとなっております。

その他、町内だけではなく、小田原市、南足柄市、秦野市など町外の方の利用も少なくない状況にあります。

近隣市町の子育て支援センターの整備状況は、足柄上地区内1市5町では、南足柄市に2カ所、開成町を除く各町で各1カ所の子育て支援センターを設けている状況があります。

開成町の駅前子育て支援センターでは、開所後4カ月間の利用実績をもとに推計

をしますと、年間で延べ4, 900組程度の親子が利用することが推測できます。

この数値を平成27年度における近隣市町の施設の年間延べ利用者数と比較しますと、山北町の5, 901組に次いで2番目に多くなることになります。また、小田原市にある4カ所の子育て支援センターの中では、小田原駅西口にある子育て支援センターの4, 605組を上回る利用者数となっております。

「ぷらっと・かいせい」には、ファミリー・サポート・センターの事務所も移設しておりますが、移設後の成果として、平成28年4月以降の1カ月平均で、相互援助活動が26.8件、会員増加数が4.8人増となり、平成27年度と比較しますと、それぞれ約2倍になっており、子育て支援拠点としての機能はより充実していると考えております。

パレットガーデン自治会館の使用状況と他の自治会館の比較についてお答えをいたします。

パレットガーデン自治会館の使用については、指定管理者であります、パレットガーデン自治会が定めます「自治会館の使用規程」に基づき運営されているところであります。

現在までの実績では、利用者としては、8月16日までで延べ1, 372人です。

内容としては、自治会の組長会議等の役員会、いきいき健康体操、各種サークル活動、パレットまつり等の自治会活動に活用されております。

他の地域集会施設との状況等の詳細は、資料で御確認いただきたいと思います。

なお、他の地域集会施設との比較は、自治会の規模、施設の規模、利用形態が異なることから、一概に比較はできないものと考えております。

次に、二つ目の、各施設の利用者拡大に向けた取り組みについて、お答えをいたします。

駅前窓口コーナーにおいては、開設後、まだ間もないことから、町民への周知を重ねていく必要がまだあると考えております。

駅前窓口コーナーでは、証明書専用窓口であるため、比較的短時間で証明書取得ができ、便利であることを強調して周知していきます。

今後は取得できる証明書等の種類を拡大していき、さらに便利な駅前窓口コーナーを目指していきます。

次に、駅前子育て支援センターについてお答えをいたします。

平成28年4月に開所以来、これまでも、玩具などの消毒は頻繁に実施をし、子ども同士の衝突を避けるため、年齢や活動状況に応じたエリア分けを行うなど、安全には十分に配慮して運営しているところであります。

委託先の法人が集約している他の支援センターでのヒヤリハット事例なども日々参考にしながら、さらに利用者が安心して過ごせる環境の維持に努めていきます。

現在の利用者数は1日平均約20組程度で落ち着いておりますが、町の保健師など専門職による相談の実施や、利用者のニーズを捉え子育て支援の質の充実を図っ

ていきます。

このことによって、駅前子育て支援センターを開成町に住んでいる子育て世帯に親しまれる施設とするとともに、町への定住化を促進させる役割としてもしっかりと担っていく施設としていきたいと考えております。

パレットガーデン自治会館においては、開所から5カ月を経過したところでありますが、徐々にではありますが利用者が増加傾向にあります。

利用者の声として、パレットガーデン自治会員からは「自分たちの施設であり、気兼ねなく利用できる」など、御好評をいただいております。

パレットガーデン自治会では、組長会議で自治会館の利用状況を報告しつつ、利用拡大を呼びかけ利用推進を図っているところであり、さらなる施設の活用が期待されるところであります。

なお、自治会員からの紹介もあり、自治会以外で民間団体等での利用実績も出ているところであります。

町としては、自治会館は、パレットガーデン自治会のコミュニティ活動に利用する施設であると考えますが、駅近という立地であり、利用時間に余裕があれば有効活用の面から民間団体等の使用を提供するなど、指定管理者が管理している施設ではありますが、利用の拡大について指定管理者に促していきたいと考えております。

なお、各種業務等での利用拡大を図るものとは異なりますが、開成町民センター図書室の図書返却ボックスを3階「ぷらっと・かいせい」に設置し、利便性向上を図っていくとともに、当該施設の2階、3階には、それぞれの施設、機能が確保されておりますので、個々の管理、権限にこだわらず、相互に連携を進め、施設全体の魅力を高めていきたいと考えております。

以上であります。よろしくお願いいたします。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

それでは、再質問させていただきます。ただいま町長から大変詳しい説明がありまして、使用条件について、数字でお示しいただき、現状についてはよく理解できました。

開成駅周辺の開発により、人口が増え元気な子どもたちの姿が目立つようになり、こうした時代の流れに対応すべく、この三つの機能を備えた「ぷらっと・かいせい」は、意義のある公共施設だという答弁をいただきましたが、私も地元にある施設として、多くの町民の皆様喜んでいただきたいと思います。と思っています。

しかし、私の耳に入ってくる反響は、必ずしもよかったという御意見ばかりではありません。中には賃借料が高いという意見が数多く寄せられております。

そこでいくつかの質問をさせていただきます。まず、駅前窓口コーナーにつきまして、下島地区にとっては、遠い役場に行くより、近くで対応をしていただける施設であり、大変ありがたいと思います。ただ、先ほど説明いただいたとおり、現状

では、取得できる書類に限度があり、今後は書類を拡大していきたいということですが、具体的には何かありますか。その辺をお聞かせください。

○議長（茅沼隆文）

参事兼税務窓口課長。

○参事兼税務窓口課長（鳥海仁史）

駅前窓口コーナーでの証明書の数について、少ないというような御指摘であります。私どもも、今後、税証明の関係について、窓口コーナーで発行していきたいと考えておまして、所得関係の証明ですとか、ゆくゆくは資産の関係の証明等も出していきたいと、より利便性を高めていきたいと考えてございます。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

ありがとうございます。十分期待して、そういう拡大をしたいと思いますので、よろしく願いしたいと思います。

それで私は、窓口コーナーは、役場の機能の中でも、税務窓口課だけの対応でなくて、窓口コーナーに求めるのは町民サービスだと考えております。一つの案として、例えば、今、環境防災課でやっている粗大ごみの受付ですね。これなんかは簡単にできるのではないかと思うんです。こういうことを、拡大ということの中の一つの手段として捉えていく、よろしいですか。どうぞ、お願いします。

○議長（茅沼隆文）

参事兼税務窓口課長。

○参事兼税務窓口課長（鳥海仁史）

ただいまの御質問についてお答えをしたいと思います。現時点では、駅前窓口コーナーは、税務窓口課の正面窓口の出先というような取り扱いになってございます。

こうした中で、非常勤職員への教育、研修等を行っておるわけですが、今後、利用の拡大と利便性の向上というところを考えてまいりますと、やはり非常勤職員の中でできるものは何かというものを今後詰めていった中で、できるものは実施していきたい。

ただ、その中では、役場の庁舎の職員でないとできないものもございまして、その点、議員からは具体的に、粗大ごみ等というようなお話もありましたが、やはり粗大ごみ一つをとってみても、台帳が二元化されるというようなことですか、現金の処理の問題等、いろいろ課題もございまして、粗大ごみの取り扱いに限らず、そういう細部のところまで詰めた上で、業務の拡大の判断をしてまいりたいと考えてございます。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

ありがとうございます。私も、非常勤で今対応されていますけれども、例えば、

役場の仕事に精通した、定年を迎えた方、結構いらっしゃると思うんですけれども、そういう精通している方に、定年後の継続、やっていただけたらいいかなということを考えておりますので、その辺はひとつよろしくお願ひしたいと思います。

それから、窓口の利用者の一人に、自治会に入っていない方がいらっしゃって、実はこの方が、カレンダーを窓口にもらいにいったと。ところが、自治会に加入促進の話をするため、役場に行ってくださいということで、カレンダーはもらえなかったと。私は、カレンダーは自治会に入っているから、ごみの問題云々というのはあるのでしょうけれども、不法投棄とか、そういうものをなくすために、ごみのルールを守っていただくためにも、カレンダーは渡してほしかったと思っているんですよ。

もっというのであれば、カレンダーじゃなくて、家庭用のごみの分別表がきていますよね。ああいう部分のものも、やはりあげてもいいんじゃないかと。そしてあげて、サービスをして、自治会に入っていただくというふうになってもらうんじゃないかと思っています。

開設間もないことから、町民の周知を図っていくということですが、駅前窓口コーナーで対応というのを言われましたけれども、最後までPRをしていただかないと、なかなかこれは難しいかなと思っていますので、細かいところまで、周知をしていっていただきたいと思っています。

次に、子育て支援センターの関係に移りたいと思います。いただいた資料の中で、利用の組数は、目標の20組に近い数字が出ており、おおむね目標は達成しているということでございますけれども、センターのスペースを考える場合、目標は20組と、そういう形でやはり妥当なのでしょうか。その辺、ちょっと。

○議長（茅沼隆文）

子ども・子育て支援室長。

○子ども・子育て支援室長（中戸川進二）

お答えいたします。まず、20組の妥当性ということでございますが、まず、国が基準として一つ掲げておりますのは、「一度に10組程度の親子が利用しても差し支えない広さとすること」というところが一つまず基準としてございます。それを基準にしつつ、開成町として与えられたスペースの中で適正な規模を考えたときに、1日20組程度が利用できる一つだということで、今の状況になっておりますので、開成町としては適正と考えております。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

ありがとうございました。利用状況を別紙の数字で見ますと、みなみ、下島のパレットガーデンが約50%ですね。あと残りの11自治会で、50%になると思います。近隣の方が非常に多いわけですが、今後の町民というか、広い意味で、ほかの自治会の方に使っていただくために、対策やPRはどんな方法を考えていま

すか。

○議長（茅沼隆文）

子ども・子育て支援室長。

○子ども・子育て支援室長（中戸川進二）

お答えいたします。まず、利用状況が、南の地区に偏っているのではないかと
いう御意見ございました。改めて、ちょっともう一度申し上げますと、子育て支援セ
ンター、駅前については2カ所目になっております。開成町については、従来より
も1カ所目の子育て支援センターということで、酒田保育園に併設している形で従
来より運営してございました。そちらの利用状況は、平成27年度は、2,839
組、延べでございますが、御利用があるといった状況もございます。

ただ、駅前で改めて今回、支援センターを整備したということの意味合いから考
えましても、少し従来からある支援センターとは色合いは違って、役割分担みたい
な形にはなってくると思うんですけれども、いずれにいたしましても、町長答弁
でございましたように、安心して過ごせるような環境ということを主眼に置きなが
ら、子育て支援の質の充実ということで、図っていきながらPRを進めていき、多
くの人に利用していただきたいなと思っております。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

支援センター2カ所というのは、私も承知しておりますけれども、新しい施設で
すので、町民の多くの方に利用していただきたいと思っております。

あと子育てについて、相談が多いようですけれども、相談の件数とか、相談の内
容について、差し支えのない程度でちょっと教えてください。

○議長（茅沼隆文）

子ども・子育て支援室長。

○子ども・子育て支援室長（中戸川進二）

お答えいたします。駅前支援センターでの相談の実績ということでございます。
また、4カ月ということでございますが、この4カ月の期間の中で、合計254件
の御相談がございました。分類がちょっと五つほどございまして、一つ目が、お子
さんの生活相談、それから発達に関する相談ということで、こちらが141件にな
ります。全体の55.5%を占めているという状況です。

二つ目が、保護者がお子さんとのかかわり方についての御相談、これが42件で
ございまして、16.5%を占めてございます。

それから、保護者自身の健康等に係るもの、こちらが35件で全体の13.8%
でございます。

それから、四つ目が、家族、友人、親戚などに関するものということで17件、
6.7%という形になっております。

それから、最後に、これらに属さないその他ということでございまして、19件

で7. 5%という形になってございます。

以上のような5分類で、相談については受付を行っております。ただ、相談についても、非常に現場のスタッフが心がけておりますのは、まず、相談できるような人間関係を構築するということは非常に大事になります。ここはスタッフの資質、腕の見せどころでございまして、相談ありますかと聞いても、はい、私、相談しますという方はなかなかいらっしゃらないので、日頃から来られている方との人間関係を少しずつ、少しずつ距離を近めていって、相談しやすいような体制をつくった上で、それで相談に応じているといった状況でございます。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

どうもありがとうございました。相談というのは、本当に大事な業務の一つだと思いますが、そういう構築をして、信頼関係していくというのが、本当に大事な一つの仕事だと思いますので、今後ともひとつ、よろしくお願いしたいと思います。

駅前に設置されて、非常に便利な施設なんですけれども、駐車するスペースが非常に少ないですね。今はコンビニがまだできていないので、11月からコンビニが運営するということなんですけれども、駐車台数に限りがあって、近くの方は、歩いてでも来られますけれども、やはり町内でも、北部の関係の人から来るとか、駐車スペースがないと非常にまずいかなと思うんですけれども、この辺の対策は何かお考えですか。

○議長（茅沼隆文）

子ども・子育て支援室長。

○子ども・子育て支援室長（中戸川進二）

お答えいたします。「ぷらっと・かいせい」ですとか、もつというところ、駅前ビル、施設全体の係る部分でございまして、まず、当初、私ども見落としとして想定していなかった部分で、現実問題、駐車場がなかなか足りていないんじゃないかという問題が、現在浮上してきております。このことについては、従来から巡回バスを利便性を向上したりしながら対応してきたのですが、抜本的に何か解決策を講じなければいけないだろうという課題をきっちり把握いたしましたので、今後、今現在進めているところでございますが、じゃあどういった形で、利用者の利便性を図っていくかということで検討を始めておりますので、近いうちにちょっと結論は出したいと思っています。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

今、御答弁いただいた巡回バス、バス停が目の前にあって、大いに利用していただければと思っております。

次に、目安箱を設置して、利用者から様々な御意見を伺うとお聞きしました。町

長答弁の中で、利用者の声として、そんなに広くなく、幼児と乳児のスペースが分かれて、安心して過ごせたと。いつも安心して過ごせていると紹介がありましたけれども、冒頭、私の質問の中には、全く真逆の声が寄せられております。スペースが狭くてという、今後とも目安箱は継続していただき、機会があれば、そういうものを公表、またはアンケート調査等をとっていただいて、公表していただきたいと思うのですが、その辺はいかがですか。

○議長（茅沼隆文）

子ども・子育て支援室長。

○子ども・子育て支援室長（中戸川進二）

お答えいたします。目安箱ということでございますが、平成28年4月に支援センター開所をいたしました。その後、皆様の声を吸い上げながら、それを運営に反映させるべきだろうということで、ちょっと1カ月ほど時期がずれましたけれども、5月に意見箱という形で、現場にどなたでも気軽に投稿できるような仕組みを構築してございます。

5月から7月までの間で、49件の意見が寄せられたといったような状況がございます。これについては、継続して実施していくといったような状況でございますが、ただ、これについては、意見がある人が意見を投函するという仕組みですので、これとは別に、利用者全体の御意見を伺うようなアンケートなども、今年度中に実施を考えてまいりたいと思っております。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

ありがとうございます。ぜひこのアンケート調査はしていただきたいと思います。

子育て支援センターについての最後の質問として、開成町の子育て支援施策ですね。魅力を感じて、みなみ地区のように、新しい住民の方に定住していただけるということが一番重要じゃないかと思っています。今後、どのような施策を展開していくのか。もしあれば、その施策の一部でも教えていただければと思います。

○議長（茅沼隆文）

教育委員会事務局参事。

○教育委員会事務局参事（加藤順一）

議員も御承知かと思うんですが、まず、町全体としましては、開成幼稚園におきまして、3歳児教育の導入に向けて、今、検討を進めているところでございます。また、民間施設ではございますけれども、新たな保育所も設置されると。そういったことを、トータルの中で子育て、まさに子育てしている世帯には利便性が増す、開成町の魅力のアップにつながるものと考えているところでございます。

以上です。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

次に、パレットガーデン自治会館について、質問させていただきます。パレットガーデン自治会館は、開成町で初めて全額町負担で用意された自治会館でありまして、町民から利用状況や運用についての関心を持たれています。当然、指定管理者に管理運営は任されていますが、町が賃貸契約をしている施設ですので、利用状況について、質問させていただきます。

御存知のように、この施設、駅前であるため、利便性が大変高いものがあります。また、下島の地区の人にとっても、近くて利用したくなる施設であります。そこで質問させていただきますけれども、自治会館に空きがある場合、下島地区の住民が、この自治会館を利用させていただくことは可能でしょうか。多分可能だと思うんですけれども、可能な場合、減免措置というのは、どう考えているのか。

それから、団体でなくて、個人がもし利用した場合、どんな対応をされるのか、その辺、ちょっとお聞かせください。

○議長（茅沼隆文）

自治活動応援課長。

○自治活動応援課長（遠藤直紀）

議員の御質問にお答えします。パレットガーデンの自治会館につきましては、指定管理者で決めましたパレットガーデン自治会館使用規定に基づいて、管理運営をされているところでございます。こちらによりますと、料金の徴収に関しましては、使用料の設定として、部屋が多目的室、洋室、厨房がございますが、そちらにつきまして、まず、パレットガーデンの自治会員の方は無料ということとなっております。

それ以外の団体、個人につきましては、営利目的でない場合と、営利目的の場合と、それから、営利目的でも物品等を販売する場合、この三つに区分けをして、料金設定をされております。営利目的でない場合につきましては、福祉、健康に資するもの、生涯教育に関するもの、こういった団体につきましては、減免措置半額という措置をとるということとなっております。

当然、下島の自治会さんからも、使いたいという声も上がっているというお話ではございますが、使用にあたっては、全然問題はございません。

ただ、自治会員ではないので、自治会以外の方の所定の手続ということとなります。料金につきましては、営利目的ではないので、使用料金も減額措置をされるということになると考えてございます。

以上でございます。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

ちょっと1点、私も勉強不足で分からないところがあるんですけど、いわゆる

町の税金を使って、賃貸者契約をしている施設ですけれど、営利目的で使っていいのかな、そういうあれはあるんですか。ちょっともう一回、お願いします。

○議長（茅沼隆文）

自治活動応援課長。

○自治活動応援課長（遠藤直紀）

御質問にお答えいたします。基本的には、その当該施設の地域における地域活動の拠点ということで、その指定管理者さんの自治会を中心に使用していただく。そこが拠点となるというところでの使用になりますが、空いている場合、そのところで余裕がある場合というのは、他の自治会におかれましても、その利用ですね。例えば、民間等で英会話教室ですとか、そういったことは、この部分については、そこまで認めている部分でございます。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

分かりました。例えば、英会話とか、いろいろなサークルの団体を使って、会費を納めて、会費が余れば、その人の収入になります。そういうのは営利目的と、そういう考え方ですか。

○議長（茅沼隆文）

自治活動応援課長。

○自治活動応援課長（遠藤直紀）

議員のおっしゃるとおりでございますが、ただ、サークル内で講師を呼んで、その場で使うというところは営利目的では、団体の利用という扱いになりまして、民間、例えば、民間の方の企業さんですとか、講師の方がお金をとって、教室を開くというような場合は営利目的という形の取り扱いとしてございます。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

分かりました。ありがとうございました。

それでは、利用する場合に、手続上はどんな形をとるのか。ちょっと教えていただけますか。

○議長（茅沼隆文）

自治活動応援課長。

○自治活動応援課長（遠藤直紀）

御質問にお答えします。利用上の手続でございますが、こちらの指定管理者の管理になりますので、指定管理者に申し込みをしていただいて、所定の様式がございますので、そちらに最初は団体登録、紙に書いていただくような形をとりながらという扱いになってございます。

以上でございます。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

分かりました。それでは、いろいろな団体が今、話が出ていますけれども、使う場合、立地条件が非常にいいので、いろいろな人が使われると思います。

そこで例えば、私の知り合いに音楽活動をしている方がいらっしゃって、どうしても開成町の中では、音楽、音が出る、音楽をやるところが、会場がないということなんですけれども、パレットガーデンの自治会さんの会場というのは、防音設備は大丈夫なんですか。例えば、音楽活動に貸し出しが可能かどうか。

○議長（茅沼隆文）

自治活動応援課長。

○自治活動応援課長（遠藤直紀）

議員の御質問にお答えします。音楽活動という部分では、幅広くいろいろ楽器もあろうかと思います。コンサート、例えば、ギターですとか、笛というような、フルートを吹くとか、そういうようなコンサートということは、自治会でも行っております。ただ、電子を伴うものですとか、そういったところまでの防音までは、防音設備という意味で、整備の段階では設けておりませんので、その内容にはよると思います。

以上でございます。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

分かりました。防音装置が可能な設備については、またある機会を捉えて質問をさせていただいて、つくっていただくような方向も考えていただくような形をとりたいと思います。

ほかの集会施設と一概に比較できないということですが、実際の使用状況について、教えていただきたい。

○議長（茅沼隆文）

実際の使用状況についてということですが、自治活動応援課長。

○自治活動応援課長（遠藤直紀）

議員の御質問にお答えいたします。実際の利用状況ということでございますが、パレットガーデン自治会さんで、地域の活動の拠点として、どのようなものという部分につきましては、町長答弁にもございましたように、自治会の地域活動に使われているというものでございます。

今後、どのようなものがあるかという部分になりますと、先日ですと、防災訓練が、避難訓練のところでも使われたところがございます。また、今後、敬老会ですとか、パレット文化展、文化祭ですね。それから、読み聞かせ会、ふれあいサロン、こういったものを自治会でも事業計画の中で予定をされておりますので、こういっ

たものが自治会に地域活動の拠点として活用されるのではないかと考えてございます。

以上でございます。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

4月からオープンして、私の想像していた利用率と、実際にもらった資料、大分私の考え方と違って、大分使われているみたいな気がするんですけども、ぜひ、活用していただけるように、ひとつお願いいたします。

次に、パレットガーデン自治会で使用している利用促進、あわせて利用効率面から、民間等の利用も考えていかなければいけないというふうなことですけれど、町はこれについてどのような指導をしているか、教えてください。

○議長（茅沼隆文）

自治活動応援課長。

○自治活動応援課長（遠藤直紀）

パレットガーデン自治会、自治会館でございますが、4月からオープンということで、自治会長さん等も、これまでどのような使用をされているのかというふうなお話、確認はさせていただいているところでございます。

その中でまずは、こちらの施設がパレットガーデン自治会館ということで、パレットガーデンの自治会の主として地域活動の拠点となりますので、まずは自治会員の方に使っていただくように事業や行事をつくって、その中で使ってもらった上で、自治会員の方、気軽に使えるという、そういう認識をまず持っていただきたいと。また、親しみを持っていただきたいというふうなことを話の中では、しているところでございます。

また、自治会以外の方、余裕があれば、というところでございますけれども、そんな中、民間からの利用実績ということで、先ほど営利目的というような話もございましたけれども、一例として、大人の美文字教室とか、そういった教室も民間の方の利用としてあったということを指定管理者からは聞いています。これも自治会員からの口コミということで、自治会の中で徐々にではありますけれども、施設で使っていこうというところで、利用者も増加しておりますし、施設の知名度も上がっていると考えてございます。

町としましては、地域集会施設ということもございますけれども、まずは自治会の方に使用していただく。また、余裕があれば、民間の方に利用していただくということも、今後もパレットガーデン自治会に促していきたいと考えてございます。

以上でございます。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

よろしくお願ひしたいと思ひます。

次に、先ほどの町長の答弁の中で、二、三階の機能にこだわらず、相互連携を進めて、施設全体の機能を高めていくんだという答弁をいただきましたけれども、大変すばらしい発想だと思います。具体的にどんな連携をとっていくのか。もし案があれば、教えていただければ。

○議長（茅沼隆文）

子ども・子育て支援室長。

○子ども・子育て支援室長（中戸川進二）

具体的な連携の方策ということで、私からお答えをさせていただきます。今現在予定をしている部分でございますが、まず、子育て支援センターの行事として行う講座、それでかなり大人数をお呼びしてという場面では、3階だけではなく、2階のパレットガーデン自治会をお借りして行っていきいたいと考えております。

さらに今現在お話としていただいておりますのが、パレットガーデン自治会の中の子育てサークルの方から子育て支援センターでの読み聞かせを実施していきいたいというようなお話も伺っております。こういったことを相互に連携しながら、全体の機能を高めてまいりたいと思っております。具体的な例といたしまして、今現在はそういうことを考えているということでございます。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

私も連携していくという考え方は非常にすばらしいことだと思っております、例えば、パレットガーデン自治会さんの、そんなにしょっちゅう使っているわけではないと思うので、空いている場合には、子育て支援センターの子どもさんの遊び場に開放したらどうかと、そんな案もあるんですけど、そういうことが連携していつて、あの建物がより利用者が多くなればいいと考えております。

自治会館の管理運営は、指定管理者制度で行われておりますけれども、自治会以外の利用があった場合、その収入は、指定管理者の団体に当然入ってくるわけですね。費用対効果ということを考えれば、利用者を増やして、この会館がぜひ繁栄していただくように思っております。

この施設、三つの施設、内容につきましては、まだ、数カ月ですので、開設が1年経って、来年の3月議会で、再度質問したいと思っております。

「ぷらっと・かいせい」は、よりよい施設であることは間違いないということで考えております。いかんせん、大変高額な賃借料を払っているわけですね。これは町民の関心が非常に高いと思っております。

ぜひ、有効活用できるように、運営にはくれぐれも万全を尽くしていただきたいと思ひます。

答弁にあったように、定住につながる施設として、十分機能が発揮できるように、今後も住民の皆さんの声を聞きながら、見守っていきいたいと考えています。

以上で私の質問を終わります。

○議長（茅沼隆文）

副町長、どうぞ。

○副町長（小澤 均）

お時間なんですけれども、先ほど頭で駅前の窓口コーナーの関係で、家のほうからせっかく粗大ごみの受付等も扱ったらどうかという提案いたしました。また、町民にカレンダーを配付するだとか、ちょっとそういった簡易なものについて、こちら側、お答えが少し後ろ向きみたいな感じの答えだったので、コストもかかっているという部分がありますので、できるだけ利用者目線に立って、できるだけサービスの質を高めていくように取り組みをしていきたいと考えています。

以上です。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

終わりにして、前回もそうだったんですが、また、副町長から答弁きたんですけれども、やはり本当に、そういう今の考え方、町民サービス、これが一番大事だと思うんですね。先ほどの同僚議員からも質問があったような形もありましたけれども、やはり町民サービスを一に考えて運営をしていっていただきたいと思います。

以上です。

○議長（茅沼隆文）

よろしいですか。これで湯川議員の一般質問を終了いたします。